

イスラエルの回復のために祈りましょう

イスラエルのマグレブ系ユダヤ人

人口;2,780,000 人

➡「マグレブ(MAGHREBI)」とは、北アフリカを指す名称である。マグレブ系ユダヤ人は、モロッコ、リビア、アルジェリア、チュニジア、エジプトといった国からイスラエルに帰還した。彼らはアラビア語やヘブライ語を話し、フランス語を使う人もいる。多くのヨーロッパ系ユダヤ人と比べて皮膚の色の濃い彼らは、アシュケナジ(中欧系)よりも、セファルディ(スペイン系)のユダヤ伝統に従っている。

➡マグレブ系ユダヤ人の先祖の多くは、もともとスペインに住んでいた。彼らは、イスラム教徒の支配下するスペインでアラビア語を覚え、豊かなユダヤ人文化を开花させ、哲学や詩の著作活動が行われた。ところが、キリスト教徒がイスラム教徒に代わってスペインを統治するようになると、ユダヤ人は迫害され、宗教裁判で多くのユダヤ人が処刑された。1492年、キリスト教への改宗を拒み続けたユダヤ人はスペインから追放され、多くの人々が彼らにとってなじみ深い北アフリカのイスラム・アラブ文化圏に向かった。ジブラルタル海峡を渡るとモロッコがあったからである。

➡彼らより前に、すでに 2200 年前から北アフリカに住んでいたユダヤ人がいる。ローマ帝国治世の当時、ユダヤ人は信教の自由を許されていた。彼らは北アフリカを含め、ローマの支配下にある地域をくまなく旅した。

➡イスラム教徒が北アフリカに広まっていたころ、イスラム教に強制的に改宗させられたユダヤ人もいたが、一般的には、イスラム教徒はユダヤ人がユダヤ教を守ることを許していた。トルコ支配の時代でも、ユダヤ人は、比較的平安な生活を続けることができた。


➡北アフリカは、やがてヨーロッパ人の支配下に置かれるようになった。アルジェリアとモロッコのほとんどはフランス領となり、リビアはイタリアに占領された。1930年代までは、ユダヤ人を取り巻く環境はそれほど悪くはなかった。しかし、ナチス・ドイツとファシスト・イタリアが反ユダヤ主義をあおるようになり、フランス領の地域でも、反ユダヤ主義の影響は強かった。こうした気風の中、イスラム教徒は扇動されて、ユダヤ人を攻撃するようになった。これはユダヤ人にとって非常に困難な時期であった。1942年、ナチス・ドイツが北アフリカを侵略すると、多くのユダヤ人が、強行軍や収容所における強制労働で命を落とした。ドイツが敗れた後でも、依然として彼らの生活

は厳しかった。各地で、イスラム教徒によるユダヤ人への攻撃が絶えなかったのである。

◆第二次世界大戦以降、ほとんどの北アフリカ諸国が、ヨーロッパからの独立を果たした。こうした独立闘争の時期に、イスラム過激派はユダヤ人を対象にさまざまな圧力を加えた。北アフリカの一部の国々は、48年のイスラエル建国に猛反対し、40年代後半から50年代前半にかけては、3万人以上のリビアのユダヤ人がイスラエルに逃げ込んだ。集団脱出以前、エジプトには約6万3,500人のユダヤ人が住んでいた。エジプトでは、民族主義とイスラエルに対する苦々しさがイスラム過激派をかき立て、ユダヤ人の暮らしが危ぶまれてきた。48年から70年までの間に、数多くのユダヤ人がエジプトを後にし、その中の3万7,500人がイスラエルに帰還した。リビアでは、67年のイスラエル六日戦争の後、反ユダヤ人的な風潮が顕著になり、大半のユダヤ人は、この時期にリビアから離れた。アルジェリアとモロッコがフランスから独立した際には、そこにいた多くのユダヤ人がフランスに移住し、イスラエルに帰還した人も多数いた。

◆イスラエルの受け入れ態勢が十分整っていない時期に、大勢のマグレブ系ユダヤ人がこの地に帰還した。彼らのほとんどは貧しい難民で、資金も、専門的職業の技術もなかった。イスラエル国内のアシュケナジ系ユダヤ人の共通語である、ヘブライ語もイディッシュ語も、マグレブ系ユダヤ人は話せなかったため、意思の疎通にも支障をきたした。イスラエル政府は、急ぎよ、彼らのための仮設住宅を建設。西側諸国から特殊技術を持った豊かな移住者が続々と帰還してくると、マグレブ系ユダヤ人は、技術も教育もない人々として見下されるようになってしまった。後から来た移住者には、よりよい住環境、資金援助、職業訓練が与えられた。政府の約束にもかかわらず、最初の仮設住宅はいつまでもそのまま、よい住宅を与えられることはついになかった。また、教育や技術に恵まれていないマグレブ系ユダヤ人は、肉体労働者、街路の清掃人、商店の売り子、メイド等の仕事にしか就くことができず、低賃金のために行き詰まり、よりよい住まいを得ることはできなかったのである。

◆イスラエルでは、違う出身地の人同士が結婚することは珍しくない。最近では、ロシアからの移民がイスラエルの状況を変えつつある。かつて、マグレブ系ユダヤ人が担っていた低賃金の仕事は、現在、ロシア系ユダヤ人がその役割を果たしている。これがイスラエルの社会構造を変えているのである。



祈りの課題

- ☆ マグレブ系ユダヤ人の貧困の悪循環が断ち切られるように。

- ☆ 神が、マグレブ系ユダヤ人の劣等感、羞恥心、自己卑下、憤慨を取り除き、代わりにご自身の愛と受容を与えてくださるように。

- ☆ マグレブ系ユダヤ人が、自分の本当のアイデンティティーをイエシュア(イエス)の中に見いだすことができるように。

- ☆ マグレブ系ユダヤ人が立ち上がり、諸国のための光となる、という主のご計画を成し遂げることができるように。

- ☆ 犯罪へとつながる暴力の霊に立ち向かって。

- ☆ 生まれ育った国から受けたイスラムの影響から、彼らが解放されるように。

- ☆ 恐怖心を生み出す、護符やお守りの使用に立ち向かって。